

ぎかい



2020.7.17

小国町議会だより 第**145**号



**子どもたちの安全を
見守っています。**

表紙関連記事は16ページ

主な内容

- 2～5ページ
臨時会・定例会
- 6～7ページ
一般質問2名登壇
- 8～13ページ
新型コロナの影響

令和2年第4回・第5回・第6回臨時会

新型コロナウイルス関連等補正予算

総額8億1076万円可決

第4回臨時会

4月30日(木)

◆一般会計主な補正

飲食業・宿泊業者に協
力金10万円交付

総務費

*町議会議員が辞職した
事による小国町議会議員
補欠選挙の所要額
375万円

*地域総合商社に対する
出資金200万円の組み
換えを行った。

衛生費

*備蓄用サージカルマス
ク補充費用*サージカル
マスクを購入し65歳以上
の町民に配布するための
費用*消毒用アルコール
等感染防止用品購入費用
846万円

商工費

*新型コロナウイルス感
染防止対策に取り組む町
内の飲食店、宿泊業者に
協力金10万円交付
650万円

教育費

*町内小中学校の休業に
よる家庭の食費増加を考
慮し小中学生一人1万円
を給付
484万円

*内閣府の地方創生事業
である「高校生の地域留
学推進のための高校魅力
化支援事業」に小国高校
が採択された事を受け所
要額を措置
850万円

◆主な条例改正

職員の不祥事の監督責
任をとり給与減額

*職員が逮捕・略式命令
を受けた事による責任を
とり町長・副町長の給与
を1ヶ月間10%減額する
ための改正

*固定資産税における所
有者不明土地等に係る課
税事務等の課題への対応
についての改正(所有者
等の所在が不明である場
合、その土地又は家屋の
使用者を所有者とみなし
てその者に固定資産税を
課す事を法制度として位
置付けるもの)

*たばこ税について紙巻
きたばこと葉巻たばこの
税額を同等とするもの。

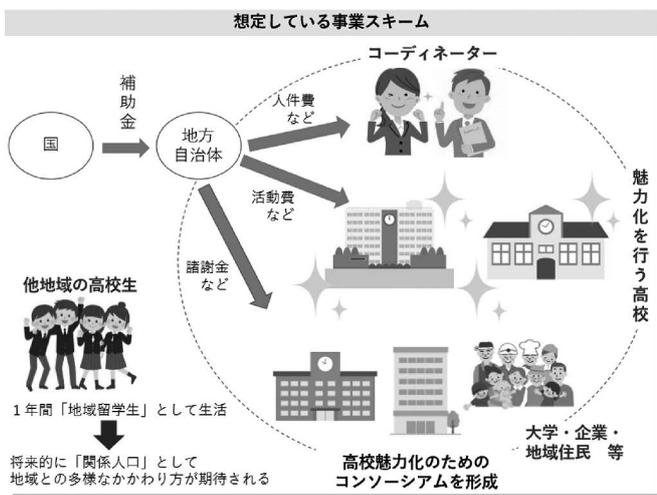
第5回臨時会

5月7日(木)

◆特別定額給付金可決

*国の補正予算が4月30
日可決した事を受け「特
別定額給付金事業」の給
付費及び事務費用を可決
7億4570万円

高校生の地域留学推進イメージ



出典:全国高等学校教育改革研究協議会資料より

特別定額給付金 支給状況

6月4日現在 96.9%

未申請者への個別対応も実施
(総務厚生常任委員会にて確認)

第6回臨時会

5月15日(金)

◆一般会計主な補正

国の緊急経済対策として児童手当上乘せ

民生費

* 国の緊急経済対策として児童手当の受給対象者に対して1万円を給付

852万円

農林水産業費

* 学校休校に伴い給食材料納入者の生産供給体制を維持するため概ね半年間、町が定量を買い上げ提供する。 272万円

* 本町特産品の岩魚の生産出荷体制を維持するため所要額を支援

200万円

* 開園自粛の観光わらび園等に1ha1万円を支援。 409万円

商工費

* 外出自粛の為の買い物困難者に対応する移動販売業者に対しての取扱商

品・巡回回数拡大のための支援 150万円
* 町が公共の観光交流施設の営業中止命令を行った事による収入減少に伴い指定管理施設の受託者5事業者に対し支援

1090万円

老人保健施設負担金

* 「温身の郷」での新型コロナウイルス感染症防止対策等に用いる衛生用品購入のための負担金

83万円

病院事業会計負担金

* 町立病院での新型コロナウイルス感染症防止対策等に用いる診療材料や備品等購入に対する負担金

245万円



自粛休園したわらび園



新型コロナ対策で更新予定のエアカーテン(同型)



新型コロナウイルス対策の基点となる小国町立病院(正面玄関)

総額2億1667万円を可決 70億5800万円に増額



新商品開発でアフターコロナに備える

定例会の あらまし

6月定例会は、6月4日から10日の7日間の会期で開催され、各会計補正予算、条例の制定、財産の取得、損害賠償の額の決定などを原案どおり可決した。一般質問では2名の議員が町政全般について、町当局の考えをただした。

条例の制定

- 小国町いじめ防止対策の推進に関する条例の制定
「いじめ防止対策推進法に基づきいじめ防止対策に総合的、効果的に推進するため」
- 小国町税条例の一部を改正する条例の制定
「新型コロナウイルスに係る徴収猶予の特例に係る手続き等のため一部改正」
- 小国町営バス設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定
「金目線の効率的運行及び利便性の向上を図るため」
(月・水・金の運行とし、舟渡地区・団子山地区を経由する)

財産の取得 除雪ドーザ (14t級) 1台 1708万円

損害賠償の額の決定

町が借り上げたリース車両が道路脇の法面に転落し、車両全損したことに対する賠償金 61万円

人事案件

小国町農業委員会委員7名
決まる

契約関係

- 町道メンテナンス事業
向片貝線向片貝橋橋梁補修工事請負契約
高橋工務店
6490万円
- 町民総合体育館外装改修工事
高橋工務店
1億3310万円

6月
定例会

一般会計補正予算

一般会計予算総額は

◆一般会計補正予算の主な内容◆

総務費	窓口パーテーション購入	42万円
	財政調整基金原資積立金	1億円
民生費	健康管理センター施設換気設備改修工事	970万円
	老人保健施設事業会計負担金	350万円
	児童手当システム改修業務	13万円
衛生費	病院事業会計負担金	714万円
農業費	水源の郷交流館空調設備設置工事	150万円
	地域特産品等新商品開発支援事業	1000万円
	新股ため池廃止工事	1400万円
	林道樽口峠線落石防止工事	110万円
商工費	がんばるお店応援クーポン券	2195万円
	商店街販売促進緊急支援事業	20万円
観光費	飯豊温泉引湯管第一減圧槽修繕	140万円
土木費	町営住宅幸町団地解体工事	441万円
消防費	避難所用空気循環器購入	233万円
教育費	総合スポーツ公園テニスコート照明設備撤去工事	43万円

ちよつと
解説

地域特産品等新商品開発支援事業

「コロナ禍後の営業戦略としての新たな取り組みとして、人を呼び込む施策を展開する」

がんばるお店応援割引クーポン券

「7月1日より一人3000円のクーポン券を全戸に配布する。

共通券2000円分 飲食店・宿泊施設・タクシー利用券1000円分」



●「高齢者生活・学校教育」コロナ禍の影響は ●施政者としての町政4年間の政策判断を問う

ま み や ひ さ え
問宮尚江議員



● 新型コロナウイルスから高齢者を守る予防策は

問宮 高齢者の方々は感染の不安から体力・気力の減退、社会参加への希薄、更に要介護度の進行が懸念される。予防策に加え健康寿命を持続していくための高齢者健康支援策について伺いたい。

事業継続に細心の配慮

町長 要介護者を支えるため訪問介護・訪問看護・通所介護等の事業に向け最新の配慮をし、一人暮らしの高齢者に対しても民生委員や介護支援専門員、社会福祉協議会の協力のもと電話や訪問を行っている。また、本年度は高齢者の総合的支援を展開する地域包括ケアを充実させるべく施策を構築する。

フレイル健診の導入を

問宮 厚生労働省の4月から開始されたフレイル（筋力面・精神面の低下により弱った状態）健診を活用し食事、運動、社会参加の充実に向け、高齢者が要介護者になるのを防ぐ施策をお願いする。

● オンライン授業への環境整備を

問宮 新常態授業へのシステム構築とコロナ災禍の問題を払拭できるように今後の修学過程を確実に保障すべきではないか。

小中学生に一人一台の端末配備を目指す

教育長 ギガスクール事業に取り組む。授業時間の確保、夏休みの短縮・家庭学習の奨励、白い森学習支援センタ

1の取り組み等で学習の遅れをサポートする。

教育の環境づくりは社会の責任

問宮 不利な家庭環境への通信機器配備や費用への対応、また支援を必要とする児童対応を十分に配慮して頂きたい。

● 4年間の政策判断は

問宮 これまでの施政方針で示された施策の到達度、成果をどのようにに捉えているのか。また高規格道路の早期実現が本町にいかに関与されていくのか。

白い森まるごとブランド構想を着実に推進

町長 「人づくり」では、保小中高一貫教育の系統的教育の展開が着実に進展している。「環境

づくり」として例えば新潟山形南部連絡道路の小国道路の事業化の実現は積極的な要望活動が採択に繋がったと考える。命の道としての早期実現が本町の観光・活性化にも繋がると一層邁進する所存である。「暮らしづくり」は町内企業体との連携を密に持続可能な企業活動に鋭意取り組んできた。「持続可能な行財政運営」では2025年を目標年次の第五次まちづくり総合計画、第二期地方創生総合戦略に基づく施策を推進する。

問宮 就任時の若者の雇用が高齢者を支えていく事に繋がるといふ思いに変わりはないか。

町長 若者とお年寄り親子が一緒に住める町づくりへの思いは変わらない。



地域自治の再構築を急げ 地域に共通の運営組織と 自治機能が必要

小関 和好 議員

今こそ地域運営の再構築を

小関 以前の地域活性化の質問の際「小国町には、様々な自治組織があり、それぞれが頑張つて地域を守っている。」との答弁であったが、いつまでもこのままではいい訳が無い。

コロナに限らず災害の際、国は県知事に指示を出す。町長は、地域の誰に指示を出すのか。

先頃「第5次小国町総合計画基本計画」が示された。いつもながら立派な計画であるが、町民あつての計画だと認識している。どの様にして町民に浸透させるのか疑問である。

大きな災害が起きる前に共通の地域運営組織の構築と打てば響く行政連絡網の確立が必要と考えるが町長の考えを聞く。

新たな仕組みづくりを構築していく

町長 本町では、昭和35年に駐在員制度をつくり今日に至っている。さらに地域事情に鑑み、いろいろな団体が複層的に地域活動を支えてきた。

昨年度、地方自治研究機構と共同で現状の分析と課題の抽出を行い「地域を誰がどのように運営し、地域の魅力を地域の人の力で作り上げていくのか」その仕組みと手法を取りまとめた。

今後は、新たな地域組織として機能する仕組みづくりを構築していく。

隣組長の存在を明確に

小関 当町は、行政と家庭の繋がりが希薄であると感じている。末端で行政と家庭を結び

隣組長の存在は、重要な役割と考えている。明確な位置付けをすべきでは。

自治会や駐在員がお願いしている

総務課長 地域の自治会や駐在員がお願いしている。報酬を出しているところもあると聞いている。

共通の地域運営組織をつくるべき

小関 地域で依頼するならば地域で依頼する。

報酬を出すなら報酬を出す。決めるべきである。地区で地域づくりをするならば、地区ごとに運営組織をつくるべき。地域に自治権と運営資金を与え、地域の事は地域に任せ、地域の要望には町が対応する。仕組みが必要と考える。それが、行政の仕事の効率化にもつながって行く。と考える。

今後の町長の地域づくりに期待をする。



遠く感じる～

地区共通の組織で町づくりを

新型コロナウイルス 緊急事態宣言中

各方面の対応状況を記録としてまとめました。(情報提供時の内容です)

マスク不足について

町内縫製会社での布マスク製造及び、町内企業の寄付、町内の方々や教職員による手作りマスクづくりが広がり、一時より落ち着いて来ている。長期的な心配と親族への輸送等で全ての町民のマスク需要はまだ続くとみられる。病院や老人介護施設、入院患者や入居者そして職員のマスク確保も検討が必要。

次亜塩素酸水

医療機関での不足が出ないようにとWHOでの推奨はしていないとの情報もあるが今後の情報次第。
※ハイター等を薄めての使用は危険もあり人

体への使用はダメ。啓蒙活動が必要。

首都圏等、緊急事態宣言の出ている地域からの避難について

町内の旅館宿泊の問い合わせ等もあり、観光シーズンの予約の対応に苦慮していた。旅館業組合で話し合っていたが、自粛要請に協力していただいた。収束後のお客様の戻りを心配されていた。

テレワーク状況

学生、就労者のテレワーク等での帰省者もいて近隣住民からの不安もあると聞く。

町内の企業・事業者について

町の融資制度のフォローを行った。制度を使わずに短期や返事待

ちの方も少なくないと聞いた。

県や政府機関でのメニューを利用している事業者もある。



レジ前のソーシャルディスタンス

契約社員で雇用保険のみ、完全歩合給のよくな仕事は、フリーランスとも異なり借入や国の助成金に該当しない為、相談も来ている。

飲食店について

緊急事態宣言後の影響が出て、出張者の減少、夜の飲食も自粛ムードで売上が激減。夜の営

業を中止するお店が増えてきている。テイクアウトや弁当配達に切り替えていろんな工夫をされている。

買い物に来る時間帯の重なり、お客様の接触を避けるための努力に予約時間調整に苦慮している。

各店のメニューや得意なものなどだぶらない様な気遣いもある。

若い経営者は迅速に対応しているが、高齢化している経営者は、テイクアウトについての理解に苦しんでいる。今現在お金が回らない飲食店に幅広く使える商品券の前倒し販売などの検討も考えてもよいのでは？

アスモを中心とした商店街について

二週に渡り、調査した結果、午前に買い物に集中し高齢者夫婦の

コロナに勝つ



無人で営業の道の駅案内所

買い物が目立つ。夕方は比較的若い方々が集中し日中に来る方々が減少と聞く。しかし、新潟県及び米沢市ではなく、感染者の出ている長井市には出て行くように聞く。



ふな茶屋 受渡口の感染対策

買物客が激減している。東京からのお得意様の業者は断りにくいので、県や町の規制がほしい。指定管理者の宿泊施設は、4月25日より休館となるため、食材やその他物品の卸売業者等にも影響が出ている。

旅館業について

観光客は激減している。企業へのメンテナンス業者への対応も課題。観光客は激減している。企業へのメンテナンス業者への対応も課題。

道の駅休業

トイレについては開放し清掃も交替で対応している。売店が休業にあたり在庫品の処分をしたが、ネット販売が出来ていないので直接

販売で処分した。今後の営業の課題である。

建築・住宅関係

空調・設備関係の修理業者は忙しく動いているが、新築や増改築となると密な打ち合わせが必要となるため、訪問する等の営業には懸念がある。外での仕事や打ち合わせの終わった新築であればお客様と接触無く行うことが可能だが、リフォーム等はお客様が生活しながらの施工が多く仕事が進まない。中国からの部品が入らないので工事が進まない。(エコキュート・トイレ・建材など)

県外への出張について

仕事でどうしても県外への出張がある。安全対策をしっかりと行

出張ではあるが感染が心配。万が一感染しウイルスを小国町へ持ち込む不安が家族からも出ていた。

中学校後援会

中学校後援会は、主に中体連、新人大会へ向けての、部活動助成を行っている。

通常時期(5月〜6月)での会費徴収は実施できないと判断。機関会議の実施も言え2か月程度集金を遅らせ、中学生の活動を支援していく方向。

保育園保護者から

保育園のお迎えの時、「なぜ登園自粛をしないのか?」と保育園から言われたが共稼ぎの家庭では会社や職場を休めない。

観光協会のチラシについて

町内のテイクアウトやデリバリーサービスについての観光協会へのチラシが山形新聞のみに入った。他の新聞購読者の対応はどうするのか。回覧や町の広報で配布を望む。

敷地には大量のゴミも捨てられている。そのゴミ中には使用済みのマスク、し尿の入りのペットボトルもある。捨ったごみの回収はできないのか。



手作りの山止め看板

一斉清掃中止について

4月29日の一斉清掃について、国道沿いには大変ゴミが目立つ。そして国道沿いの家の

他県からの入山について

山菜シーズンに入り他県からの入山が多くなっている。小国町で

は新型コロナウイルスが発生していない。他県から入ってくるようなことは積極的に阻止するべき。

式での販売。うを徳さん：店でやれば渋滞や三密の恐れもあり、駅前ロータリーでの開催を実施



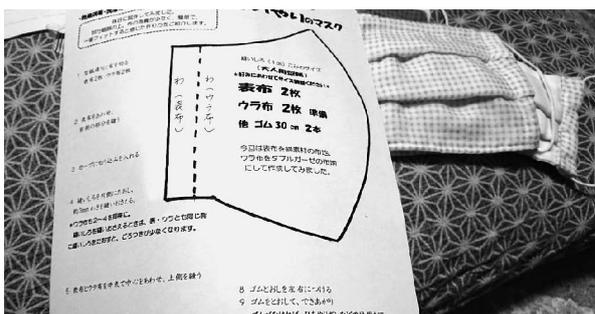
駅前でのドライブスルー 子供たちに100円弁当

町内飲食店夜の営業自粛について

夜の営業を自粛して昼のランチ、お弁当の販売や配達等に切り替えての営業を始めている。子ども向け弁当を限定販売、予約制、密を避けドライブスルー方

オンライン授業 オンライン会議

帰省中の大学生、企業の中でオンライン授業・会議が実施されてきている。小国町の教育の中でもICT教育を取り組んでいる。新しいコミュニケーション



手作りマスクの型紙

授業ができない期間、教職員がマスクを作り、子供たちに配布できるように取り組んだ。ミシンがない家庭や裁縫が得意でない家庭から喜ばれたとの声があった。

小学校・小国高校で手作りマスクの作成

ールとしてしっかり進めてほしい。遠く離れた家族ともやってみたい。

新型コロナ

緊急事態宣言 解除からの暮らし

皆さんの声

①生活するうえで困っていることはないが、都会にいる子供や孫が心配だ。

このような状況の中、小国町に住んでいることは幸せに感じている。

②マスクは町からもらい、自分でも作れるので足りている。

買い物は、家族が通勤のついでに買ってくるから不自由はしていない。移動販売も増えたので、助かっている。



③地元に登山口があるが、地元の人は山に入るの一般登山客とのルートをしっかりするべきだ。登山口の開通についてどうなっているかわからない。

↓地域整備課、町民税務課、産業振興課がそれぞれ関わっていたので、新型コロナ会議の中でお互いの情報交換をしっかりとしていた。小国町役場としての対応をお願いした。

登山についてはあくまで山岳遭難に対応が難しい状況下での自粛の要請である。今後その状況は変わらぬので引き続きご協力願いたい。

④わらび園の問い合わせは、毎晩のようにくる。「来年、新型コロナが収まったらゆっくり来てください。」と案内している。



⑤買い物は、若い家族が通勤のついでに買ってくるから不自由はしていない。

「若い議員さんが一生懸命してくれるととても嬉しい」と声をかけてもらった。



商店・企業の声

森のめぐみ直売所

県外ナンバーの車が多く、マスクを着用していないお客様が多く不安だった。

トイレだけ借りるお客様もいるので国道沿いのトイレを増やしてほしい。

スタッフが少なくトイレ掃除も大変。

↓消毒液の置き場所・商品の出し方、蓋の設置を提案した。



渡部畜産・肉店

牛肉の価格は4月が底値だった。ホテル、高級店向けのA4、A5が売れていない。A3を中心にネットで販売しており何とか頑張っている。消毒薬の入手が困難だ。



玄太郎

企業の飲食の自粛が影響している。



テイクアウトの客はいるが、ランチの来店は少ない。午後8時で閉店していたが緊急事態宣言解除後は午後9時に閉店としている。カウンターは6席を4席にして座敷席も人数制限し営業している。

つたや旅館

緊急事態宣言の解除後からは業者の受け入れは始めたが、県外の

観光客は受け入れをしていない。観光シーズンでもあるが、感染予防を続けている。食事会場のソーシャルディスタンスを確保し努力を続けている



小国米穀商業組合

野菜苗の販売時にすぐく込み合うのでマスクの販売とレジを2か所に設置し対応した。

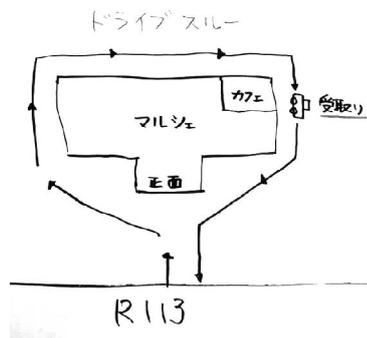


美森マルシェ

産直コーナーは感染対策をとり、時間短縮で行っている。イート



インスパースは自粛要請にに応じてテイクアウトのみとした。店内が込み合うことを心配した。議員よりドライブスルーを提案され実施した。



観光わらび園

国・県からの自粛要請を受け、観光わらび園組合の決定により全面自粛とした。

小国町観光わらび園組合よりお知らせ

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため小国町内全園所の開園を中止することとなりました。よって拝見観光わらび園は、終日入山禁止いたします。ご来園いただきましたお客様には大変ご迷惑をおかけしますがご理解の上ご協力願います。尚、共有林野への入山し、山火等の採取についても同様となります。また、無断入山を球蹴した場合は小国警察署へ通報いたします。

大字橋口部落
小国町観光わらび園組合
小国町観光協会
橋口観光わらび園

コロナに勝つ



アイデアで売り上げ確保

連休期間中は自粛状況の確認。県外ナンバーへの声掛けを行った。

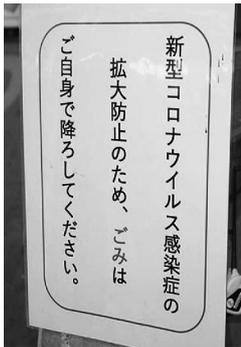
奥川入

宣言解除後からは常連客のみ受け入れをしている。テイクアウトの継続と町内で、山菜やおこわの販売をしている。

また、通販でお米と山菜のセット販売を始めた。

クアーズテック(株)

感染者予防のため正門にて3段階での検温を実施した。①サーモグラフィー②非接触体温計③体温計



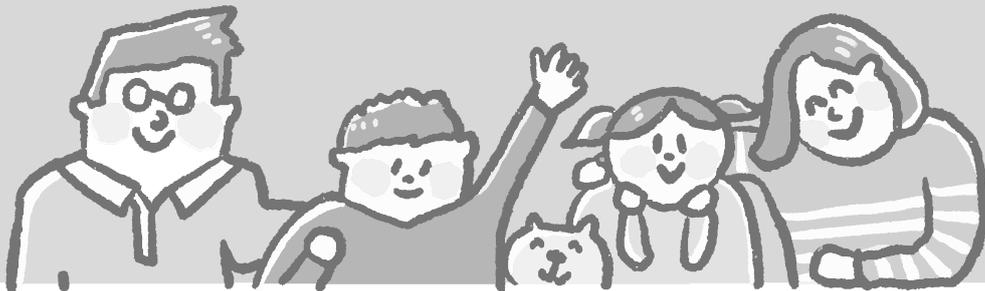
置賜広域行政組合より家庭ごみの持ち込みの自粛要請があったが、町民に周知できていなかったようである。分別のお手伝いを行うことが、感染原因になるので、第2波が来た場合は周知と自粛をしっかりと対応していただきたい。

リレーセンター



その他沢山の方々からご意見を頂きました。日々変わる状況を聞き情報をまとめており、議会でも議論し今後も対応していきます。

第2波第3波にも備え今後も町民の皆様と一緒に、がんばって行きましょう！



令和2年度各常任委員会活動方針

総務厚生常任委員会

活動方針

人口減少、少子高齢社会進展・社会保障制度の限界などますます将来が見通せない状況となり町づくりに大きな影響を及ぼしているため、関係人口の拡大を目指すなど町づくりにおける時代を展望した仕組みづくりが求められている。
このことを踏まえ議会活動計画に基づいた各種活動に取り組む。

- (1) 白い森の国を担う人材の育成
 - 移住・定住に関する取り組み
- (2) 安全・安心で快適な生活環境の整備
 - 高齢者等暮らし応援事業
 - 地域運営に関する取り組み
 - 保育行政に関する取り組み
- (3) 「暮らしがい」のある町づくり
 - 白い森みらい創生事業
 - 白い森まるごとブランド構想推進事業
 - 空白地運送事業
- (4) 新型コロナウイルス感染症防止対策
 - 新型コロナウイルス感染症防止対策事業に関する取り組み

文教産建常任委員会

活動方針

人口減少、少子高齢化による過疎化の波が町づくりに大きな影響を及ぼしているため、抑制に向けた取り組みや町づくりにおける次代を見据えた仕組みづくりが求められている。
このことを踏まえ議会活動計画に基づき各種活動に取り組む。

- (1) 白い森も国を担う「人」づくり
 - 保小中高一貫教育支援事業
- (2) 白い森の魅力を磨く「環境」づくり
 - 道路改良整備事業
 - 有害鳥獣被害対策事業
- (3) 白い森を舞台とする活き活きとした「暮らし」づくり
 - 道の駅機能拡充事業
 - 体育施設の長寿命化事業
- (4) 新型コロナウイルス感染症防止対策
 - 新型コロナウイルス感染症防止対策事業（経済対策）に関する取り組み

広聴広報常任委員会

活動方針

町民に開かれた議会と町民参加の推進・
町民の意見の的確な把握と実現に向けて、
議会活動計画に基づき、各種活動に取り
組む。

(1) 高校生との意見交換会の実施

● 次年度中高生との意見交換会開催に
かかる関係機関協議

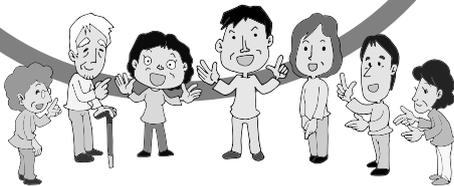
(2) 議会議員と語る会の実施（年度内予定）

● 2団体（サークル・企業等）
* 新型コロナウイルス感染症の状況を
鑑み時期を設定する

(3) 議会だよりの発行

● 年4回（7月・10月・1月・4月）
広報作成への町民参加方法の検討・
実施（モニター制導入）

小国町議会では
政策提言を
行う予定です



政策提言とは

他者、特に政策決定者に対し、
ある課題への取り組みやそ
の関連政策、思考、事業実
施方法や変化を支持するよう
推進し、働きかけ、提言活
動を行うことです。

政策提言の流れ

意見交換会（議員と語る会等）

問題整理・発見
（広聴広報常任委員会）

分析・討論（各常任委員会）

提言立案・討論（全員協議会）

政策提言

おらもおぐに町民

小国町で頑張っています



- プロフィール**
名前 (住所)
大津 秀子 (郡山市出身 緑町在住)
- 白い森子ども心援
 - コーディネーター
 - 地域学校協同活動
 - 推進コーディネーター
 - 白百合保育園補助員
 - 交通指導員

渡邊 はじめて小国町に来た感想は？

大津 すぐく田舎で不便を感じていましたが、子育てするにはのんびりと子ども達に向き合っただと生活できる良い町だと思います。

渡邊 子ども達の登校の見守り、放課後の居場所づくりなどいろんな活動をしていただいております。きっかけは？

大津 はじめは「めっちゃ」のスタッフとして誘われたのがきっかけでした。子どもたちと話したり遊んだりしていて、楽しさに気付きやがいにになりました。

伊藤 私たちが小さいときは土の上に「かかし」を書いて遊びましたが、年配者に昔の遊びを教えてくださいませんか？「かかし」は

知りませんか？

大津 家に持ち帰っても親世代がよくわからないかも(笑)



渡邊 今後の課題は？

大津 新型コロナウイルスの対応ですね。

今もそうですが密にならない様に場所の確保も必要ですが、子ども達が密にならない様にしたいです。

町内の方々には子どもたちと関わりを多く持つてほしい。きつと

楽しいはず。

渡邊 最近の家族の話は？

大津 稼業で注文いただいた子ども用マスク作成にあたり、サイズについて夫婦で議論しました。これから暑くなります。登下校時もマスクをしては大変だと思います。

渡邊 ありがとうございます。これからもよろしくお願いします。



編集後記

例年はない少雪暖冬の令和2年新年は、異常気象に不安を抱きながらも、安心して暮らせる町づくりを神前に誓った年明けでした。

しかしながら第二次世界大戦後、最大の危機ともいえる新型コロナウイルスの感染拡大は、世界的な猛威を振るい収束が見えない状況下、町も国・県の施策に合わせ、できる限りの独自予算を運用し万全を期しています。

今号は、早急な感染拡大の収束を願う町民の皆様の声を拾い、新型コロナウイルスの特集となりました。

小林(記)

発行責任者

議長 高野 健人

広聴広報常任委員会

委員長 小関 和好

副委員長 伊藤 弘行

委員 渡邊 重信

柴田 伸也

間宮 尚江

小林 嘉